

【肩関節烏口下脱臼 診察・整復】

問 1. 肩関節烏口下脱臼で正しいのはどれか。

(第 28 回)

1. 頭部は健側に傾けている。
2. 上腕は軽度内転、内旋している。
3. 整復前に鎖骨下動脈の拍動を確認する。
4. 上腕外側の感覚障害の有無を確認する。

問 2. 肩関節烏口下脱臼の外観と類似しているのはどれか。(第 28 回)

1. 上腕骨解剖頸骨折
2. 上腕骨外科頸外転型骨折
3. 上腕骨大結節単独骨折
4. 上腕骨骨幹部骨折

問 3. 肩関節烏口下脱臼の整復で正しい組み合わせはどれか。(第 28 回)

1. クーパー法 ———— 挙上法
2. コッヘル法 ———— 回転法
3. スティムソン法 —— 槓杆法
4. モーテ法 ————— 吊り下げ法

問 4. 肩関節烏口下脱臼の症状で正しいのはどれか。(第 29 回)

1. 上腕長の短縮
2. 三角筋部の腫脹
3. 水平位で弾発性固定
4. 三角筋胸筋三角の消失

問 5. 肩関節烏口下脱臼の合併症と症状の組み合わせで誤っているのはどれか。(第 29 回)

1. 大結節骨折 ——— 肩関節外側の圧痛
2. 筋皮神経麻痺 —— 肩関節外側の感覚障害
3. 腋窩動脈損傷 —— 橈骨動脈の拍動消失
4. 肩腱板損傷 ——— 肩関節の外転障害

問 6. 肩関節烏口下脱臼の整復直後の確認で誤っているのはどれか。(第 29 回)

1. 運動痛の有無
2. 血管損傷の有無
3. 神経麻痺の有無
4. 弾発性固定の有無

問 7. 肩関節烏口下脱臼に対するコッヘル法で第 2 操作はどれか。(第 30 回)

1. 外転
2. 内転
3. 外旋
4. 内旋

問 8. 肩関節烏口下脱臼整復後の確認で誤っているのはどれか。(第 31 回)

1. 受傷機序を再現する。
2. 骨頭の位置を触知する。
3. 健側との外観を比較する。
4. 関節の自動介助運動を行う。

問 9. 反復性肩関節脱臼の要因でないのはどれか。(第 31 回)

1. 初回脱臼が 10～20 歳
2. 初回脱臼の短期間固定
3. 上腕骨頭後外方の陥凹
4. 関節窩前上縁骨折の存在

問 10. 肩関節烏口下脱臼の合併症と症状の組み合わせで正しいのはどれか。(第 32 回)

1. 大結節骨折 ——— 肩関節後方の圧痛
2. 筋皮神経麻痺 —— 前腕内側の感覚異常
3. 腋窩動脈損傷 —— 爪部の蒼白
4. 肩腱板損傷 ——— 肩関節の伸展運動不能

問 11. 肩関節烏口下脱臼と受傷時の外観が類似するのはどれか。(第 33 回)

1. 肩峰骨折
2. 肩甲骨頸部骨折
3. 鎖骨遠位端骨折
4. 上腕骨小結節骨折

問 12. 肩関節烏口下脱臼に対するヒポクラテス法で誤っているのはどれか。(第 33 回)

1. 足の外側縁を腋窩に当てる。
2. 肩関節を内転、内旋で終える。
3. 両手で上腕遠位部を把持する。
4. 肩関節を外転、外旋位に牽引する。

問 13. 肩関節烏口下脱臼の整復法で上肢に重錘を装着するのはどれか。(オリジナル問題)

1. スティムソン法
2. ゼロポジション法
3. コッヘル法
4. クーパー法

問 14. 肩関節烏口下脱臼の合併症で正しいのはどれか。
(オリジナル問題)

1. バンカート損傷は触診で評価が可能である。
2. ヒル・サックス損傷は関節窩の骨折である。
3. 小結節骨折を合併することが多い。
4. 神経損傷の合併では前腕外側の知覚麻痺を呈することがある。